

平成18年度

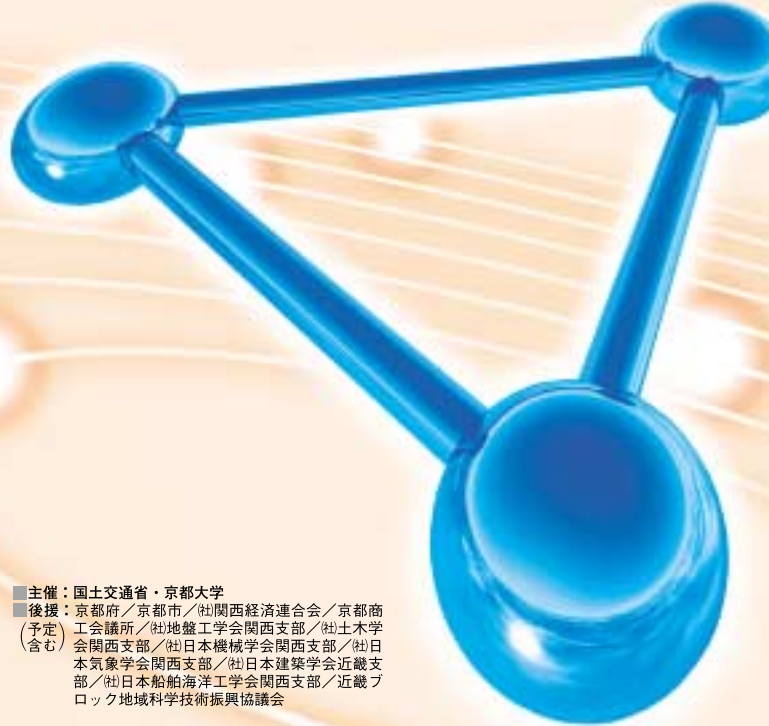
国土交通先端技術 フォーラムの開催

産学官の連携促進と成果の一層の活用を目指して

日時 ▶ 2007年2月19日(月)
【講演】13:00~16:45 / 【展示】12:00~17:30
会場 ▶ 京都大学百周年時計台記念館 / 京都市左京区
【講演・パネルディスカッション】百周年記念ホール
【展示】国際交流ホールⅢ

申込み方法 ▶ 事前の申込みが必要になりますので、電子メールまたはFAXにてご連絡ください。
受付が完了したのち、受付番号をお知らせいたします。
※会場の座席に限りがございますので、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

入場無料
【電子メールでお申し込みの場合】
以下の必要事項を記入の上、forum18@mlit.go.jpまで送信ください。
(1)氏名(ふりがな) (2)所属 (3)部署 (4)役職 (5)お住まいの都道府県
【ファックスでお申し込みの場合】
別紙参加申込書に必要事項を記入の上、以下の送信先までFAXをお送りください。
送信先: 03-5253-1560
詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/tec/topics/forum18/>



主催: 国土交通省・京都大学
後援: 京都府 / 京都市 / 関西経済連合会 / 京都商
工会議所 / 地盤工学会関西支部 / 土木学
会関西支部 / 日本機械学会関西支部 / 日
本気象学会関西支部 / 日本建築学会近畿支
部 / 日本船舶海洋工学会関西支部 / 近畿ブ
ロック地域科学技術振興協議会

【ご挨拶】

国土交通省では、平成15年度より、地方の産学の皆様と当省およびその関係研究機関が一堂に会する「国土交通省先端技術フォーラム」を開催し、国土交通省の先進的な研究開発成果や知的財産等の紹介を行うとともに、直接対話を行う機会を設けております。これを通じて、当省がこれまで取り組んできた技術研究開発とその成果をより一層ご理解いただくとともに、産学の方々と当省の研究機関の連携が促進され、研究の成果が皆様方に広く活用されることを期待しております。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご来場賜り、忌憚のないご意見等いただきたくご案内申し上げます。

平成19年2月

国土交通省 技術総括審議官 鬼頭 平三

第1部

13:00~
14:15

	講演
開会の辞	13:00~13:05
近畿運輸局長 島崎 有平	
挨拶	13:05~13:10
大臣官房 技術総括審議官 鬼頭 平三	
基調講演 「美しい国づくりへー京都の文化と科学技術ー」	13:10~13:40
総合科学技術会議議員 本庶 佑	
特別講演 「京都大学における研究推進戦略について」	13:40~14:00
京都大学理事(研究・財務担当)・副学長 松本 紘	
国土交通省トピック 「国土交通省における産学官連携の取組みについて」	14:00~14:15
大臣官房 技術審議官 佐藤 直良	

第2部

14:30~
16:45

テーマ「緊急地震速報を契機に防災意識を高めよう」

■基調講演「市民・企業・行政の防災への取り組みの現状と今後の防災対策のあり方(仮)」
京都大学 防災研究所長 河田 恵昭

■パネリストからの話題提供

■一般聴講者も交えたディスカッション

【ご参加の皆さんへ】

「間もなく大きな揺れが来ますよ!」と知らされたら、あなたはどの行動をしますか?
家庭で、街中で、職場で、工場で、デパートで、運転している車の中で、大地震にあってしまったら……。さまざまな場面で、身を守るためにはどのような行動をとるべきなのか。
今年秋にも緊急地震速報がテレビ放送などさまざまな方法で広く提供されようとしています。これを契機に防災意識を高め、被害の軽減につなげていくにはどういった取り組みが必要か、パネルディスカッションの中で議論を深めて行きたいと思っております。皆さんもフロアからの積極的な議論の参加をお願いします。

パネルディスカッション

展示

12:00~
17:30

(展示は講演の1時間前より開催しておりますので、早めの来場をお待ちしております。)

展示内容

ビデオ及びパネルによる研究成果の紹介、パンフレットの配布等
知的財産及び研究についての相談や説明

展示機関

京都大学、国土技術政策総合研究所、国土地理院、気象研究所、海上保安庁海洋情報部・第五管区海上保安本部、(独)土木研究所、(独)建築研究所、(独)交通安全環境研究所、(独)海上技術安全研究所、(独)港湾空港技術研究所、(独)電子航法研究所、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

平成18年度

国土交通先端技術フォーラムの開催

産学官の連携促進と成果の一層の活用を目指して

講演

講演者の紹介

本庶 佑【総合科学技術会議議員】



昭和41年3月京都大学医学部卒業、京都大学医学博士。東京大学医学部助手、大阪大学医学部教授等を経て平成8年10月に京都大学大学院医学研究科長・医学部長。
(独)日本学術振興会学術システム研究センター長(併任)、京都大学大学院医学研究科寄附講座特認教授などを歴任し現職。

松本 紘【京都大学理事(研究・財務担当)・副学長】



昭和40年京都大学電子工学科卒業、京都大学工学博士。工学部助手、助教授、超高層電波研究センター教授を経て、同センター長、宙空電波科学研究センター長、生存圏研究所長及び評議員を歴任。日本地球電磁気・地球惑星圏学会会長、国際電波科学連合(URSI)会長、日本学術会議電波研連委員長等を歴任し平成17年10月より現職。

佐藤 直良【国土交通省 大臣官房 技術審議官】



昭和52年4月国土交通省大臣官房人事課(同日、三重県土木部河川課)に採用。佐賀市助役、四国地方建設局河川部長、独立行政法人水資源機構経営企画部長、大臣官房技術調査課長等を経て、平成18年7月より現職。

パネルディスカッション

コーディネーターの紹介 河田 恵昭【京都大学防災研究所長】



河田恵昭【かわた・よしあき】：昭和21年3月4日大阪府生まれ。昭和49年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。昭和51年京都大学防災研究所助教授を経て、平成5年教授。平成8年巨大災害研究センター長。平成14年阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)、平成17年4月より京都大学防災研究所長、21世紀COE拠点形成プログラム「災害学理の解明と防災学の構築」拠点リーダー。大都市大震災軽減化プログラム(文部科学省)研究代表者。日本自然災害学会元会長、日本災害情報学会前副会長。政府関係では学術審議会委員(文部科学省)、中央防災会議「首都圏直下地震対策専門調査会」「東南海、南海地震等に関する専門調査会」「大規模水害対策に関する専門調査会」の各委員。ほかに、内閣府、国土交通省、文部科学省、消防庁の各委員。著書に『スーパー都市災害から生き残る』、『必携 地震対策完全マニュアル』(編著)、『防災学ハンドブック』(共著)、『12歳からの被災者学-阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵』(共著)など。

パネリストの紹介 ※五十音順



堂元 光【日本放送協会・大阪放送局長】

昭和49年4月日本放送協会入局。報道局取材センター政治部長、報道局編集主幹、報道局長等を経て現職。



西出 則武【気象庁・地震火山部・管理課長】

昭和54年4月気象庁観測部地震課採用。札幌管区气象台技術部長・気象庁地震火山部地震津波監視課長を経て現職。



布村 明彦【近畿地方整備局長】

昭和52年建設省に入り、国土庁防災局震災対策課長、内閣府参事官(地震・火山対策担当)、国土交通省河川局河川計画課長を経て現職。



山部 茂【南海電鉄・常務取締役】

昭和48年4月南海電気鉄道株式会社入社。取締役 鉄道営業本部副本部長等を経て現職。執行役員 鉄道営業本部長。



和田 修【京都府・総務部・防災監】

昭和49年12月に京都市消防士に任命。京都市南消防署長等を経て、現職。防災危機管理室担当部長を併任。

会場までのご案内

【JR/近鉄：京都駅から】

市バス▶206系統「東山通 北大路バスターミナル」行
「京大正門前」または「百万遍」下車…所要時間約35分
17系統「河原町通 錦林車庫」行
「百万遍」下車…所要時間約35分

【地下鉄烏丸線：烏丸今出川駅から】

市バス▶203系統「銀閣寺道・錦林車庫」行
「百万遍」下車…所要時間約15分

【阪急：河原町駅から】

市バス▶201系統「祇園 百万遍」行
「京大正門前」または「百万遍」下車…所要時間約25分
31系統「熊野・岩倉」行
「京大正門前」または「百万遍」下車…所要時間約25分
3系統「百万遍 北白川仕伏町」行
「百万遍」下車…所要時間約25分

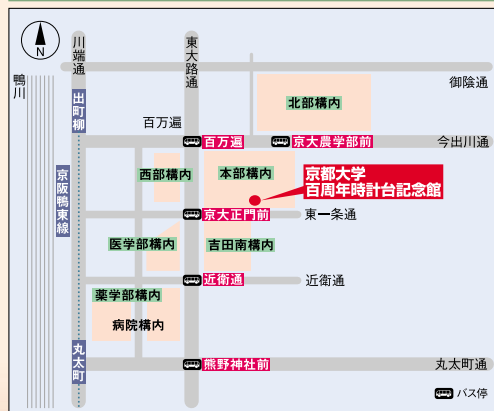
【京阪：出町駅駅から】

(東へ) …徒歩20分

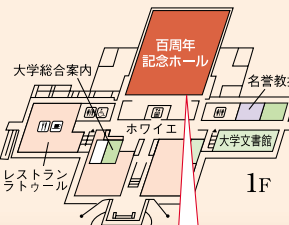
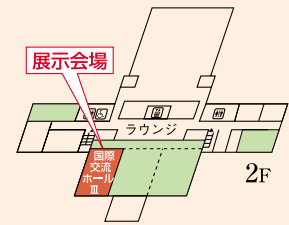
初めて来られる方へ



京都大学 吉田キャンパス(百周年時計台記念館)周辺地図



京都大学百周年時計台記念館



講演・パネルディスカッション会場

国土交通先端技術フォーラムの開催